

ローカル5Gを体験しよう

2023年 **11月4日(土)5日(日)**

11/4(土)10:00~15:00 (アバターロボット展示は17:00まで)

11/5(日)10:00~16:00

会場：情報メディア教育研究センター 本館2F セミナー室 他

ローカル5Gを利用した以下のデモ展示を行います。

① 電波可視化

ローカル5Gの電波を電波測定アプリで測定し、その様子をMRヘッドセットで可視化します。電波の強さや電波の届く範囲など、普段見えないものを視覚的に体験することができます。



② 遠隔操縦体験

ライセンスバンド（広島大学内に登録された無線局）による安定した通信品質と低遅延を体感していただきます。展示では、ラジコンカーを使い遅延時間を比較します。



③ 360° 遠隔作業支援

離れた場所の360°映像をリアルタイムに伝送し、VRゴーグルに映し出します。その場にいるような、臨場感あふれる映像を見ながらコミュニケーションをとることができます。



④ アバターロボット「newme (ニューミー)」

avatarin(株)が手掛けるアバターロボット「newme」の遠隔コミュニケーション実演を行います。

※11/4と11/5で会場が異なります。



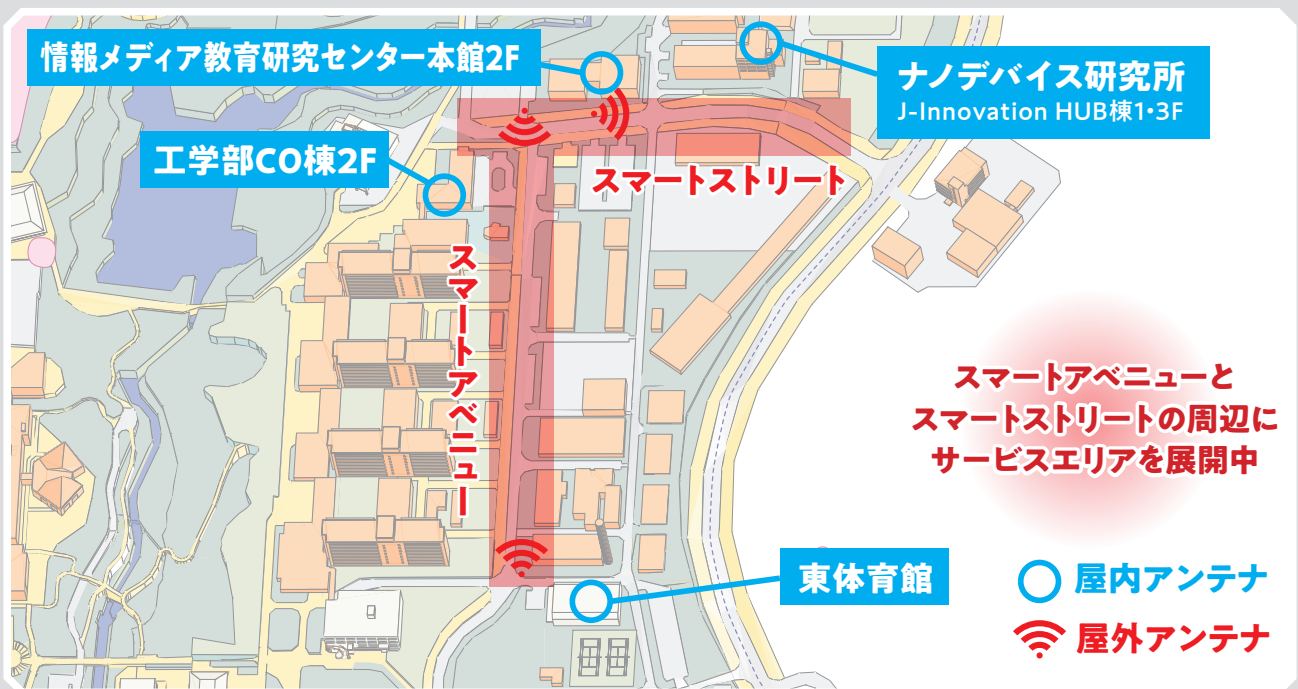
会場地図



広島大学ローカル5G

広島大学は2023年8月、東広島キャンパス内に自営の第5世代モバイル通信システム（ローカル5G）を整備しました。これは広島大学が通信キャリアと同じように、大学敷地内で無線通信サービスエリアを展開していることになります。ローカル5Gには高速大容量・低遅延・多数同時接続という5Gの特性を持ったネットワークを、目的に合わせて柔軟にデザインして構築できる強みがあります。通信に使われる電波の周波数帯は、Wi-Fiや大手キャリアが提供する5Gのものとは異なるため、他からの干渉が小さく、安定した無線通信が可能です。このような特徴をもった広島大学ローカル5G（広大L5G）は、多様なユースケースに対応できる最先端技術の実証環境としての活用が期待されています。

無線接続カバーエリア



貸出可能機器リスト（広大L5G対応）

手ぶらですぐに広大L5Gを利用したい方

スマートフォン型端末

型名：FCNT SMDE01001（型式：SD01）
台数：15
※電波測定アプリインストール済



ノートPC型端末

型名：Fujitsu LIFEBOOK U9312/K
（型式：9U13A3）
台数：10



カメラ内蔵エッジデバイス

型名：FCNT 5G・ローカル5G対応
エッジAIカメラ
（型式：AW02）
台数：10



お持ちのPCやスマホなどで広大L5Gを利用したい方

※USB Type-C（各種アダプタも用意）

モバイルルータ型端末

型名：KYOCERA K5G-C
（型式：KYOCERA K5G-C-100A）
台数：15



ドングル型端末

型名：APAL Tributo dongle（型式：Tributo）
台数：20



お持ちの5G対応端末で広大L5Gを利用したい方

SIMカード

サイズ：nano SIM
枚数：30
※対応するデバイスの確認が必要です。要相談。

問合せ先：広島大学情報メディア教育センター

<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services/local5g/>



詳細や利用申し込みは
こちらから